



山階南だより

平成30年3月2日
京都市立山階南小学校
校長 深尾 則子
<学校評価特別号>

学校教育目標

自ら考え行動し 豊かに学び 高め合う子の育成

保護者のみなさまにおかれましては、益々ご健勝のことと思います。平素は本校教育にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。本年度は山科中学校・百々小学校と三校で連携を深めるために、学校評価で共通の評価項目を設けました。山階南小学校は昨年度まで12項目でしたが、15項目に変更しました。

保護者の方には「学校評価アンケート」、児童には「よりよい学校にするためのアンケート」、教職員には「自己評価」、とそれぞれの立場で振り返るためのアンケートを実施しました。アンケートにご協力ありがとうございました。これらの集計結果をお知らせします。

（学校評価アンケートの回収率：前期73.3%，後期71.6%）

<学校評価アンケートの集計結果について>

「確かな学力」の育成に向けて

目標に向かって努力し、自分の伸びを実感する子ども【ぐんぐん】

本年度、新しく作った「授業中、人の話をしっかりと聞いて学習していますか」の質問に、児童の92.8%（「Aよくあてはまる」と「Bあてはまる」を合わせた値、以下同じ）。「子どもは意欲的に学習に取り組んでいる」の質問に、保護者の83.7%がA・B評価と回答しています。子どもと教職員に比べて保護者の数値が低くなっています。この数値から、保護者が子どもにしっかり学習して欲しいという願いが感じられます。

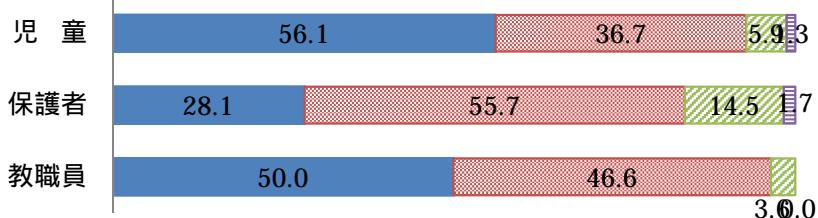
教職員は、意欲的に学ぶ集団づくりを心掛けています。今後も日々の学習や集団づくりを工夫することで、子ども達の理解を深め、学習に対する意欲をさらに高めていきたいと考えています。

「必ず宿題（自主勉強）をしている」児童が91.9%と前期に比べ下がってしまいました。自学自習の習慣が身につくよう

授業中、人の話をしっかりと聞いて学習していますか。

■Aよくあてはまる ■Bあてはまる

■Cどちらともいえない ■Dあてはまらない



に、学校と家庭が連携して働きかけを続けていく必要があります。

「豊かな心」の育成に向けて

自分も友達も大切にし、互いを認め合える子ども【にこにこ】

「友達を大切にしていますか」では、児童の96.6%がA・B評価と回答しています。子ども達が学校生活を送るうえで、小さなトラブルやケンカはつきものです。起こった後に、トラブルの原因を振り返り、自分の思ったことを言葉にして伝え、話し合うことが大切です。悪かったことを謝ることは、友達との関係を深めることにつながります。

また「進んであいさつをし、丁寧な言葉づかいをする」児童が87.9%、「あいさつと言葉づかいに注意をはらっている」保護者が91.6%です。

「よりよい学校にするために、あなたが気をつけていることを書きましょう」という自由記述欄には「あいさつを

がんばっている」「笑顔であいさつをしている」等書いている児童がたくさんいました。あいさつを交わし、良い言葉遣いで会話することでトラブルが減り、よりよい人間関係を築いていくことができると思います。今後も意識して取り組んでいきたいと思います。

「家庭でも読書をしていますか」では、児童の64.0%がA・B評価で、前期より大幅に下がる結果となりました。「家庭でも本に親しむように声をかけている」と回答した保護者も67.6%と15個の質問の中で一番低い数値になっています。

家庭で、テレビ・ゲーム・スマートフォン等に多くの時間を取りられてはいないでしょうか？ルールを決めて、意識して本を読む時間を取りるようにしていただければと思います。文章を読むことによって「読解力」が身につくだけでなく、たくさんの「言葉」にふれることで「語彙力」が増え、自分の思いや考えを適切に伝える力も身についていきます。また、本の中の色々な登場人物の出来事や感情を疑似体験することができます。そうすることで、感受性が豊かになり、人の気持ちを考えることができる子どもに育ってきます。この結果を重く受け止め、より一層子どもたちが読書をしたいと思える環境づくりに力を注いでいきたいと思います。

「健やかな体」の育成に向けて

地域・社会に目を向け、社会の一員としての自覚をもち行動する子ども

【どんどん】

「地域での遊びの時、安全に気をつけていますか」では、児童は96.3%、「安全（交通・

防犯)について話をしている」では、保護者が96.6%、「放課後の遊びや防犯・交通安全について指導している」では、教職員が100%とアンケートのたびに高い割合でA・B評価と回答しています。このことからも三者とも安全について高い意識をもっていることがわかります。

保護者の方や地域の方々にご協力をいただき、子どもたちは安全に登下校することができています。しかし、地域での遊びのマナーや自転車の乗り方等を心配する声をいただくことがあります。その都度子ども達に指導をしています。自分たちを見守ってくださるたくさんの方たちの存在を知り、地域・社会の一員としての自覚をもち、安全に、そして、人の迷惑にならないように行動する力を身につけてほしいものです。

学校・保護者・地域との連携

「学校・学年だより・ホームページ等から子どもの学校生活の様子が分かる」では、保護者の92.8%がA・B評価と回答しています。学校ホームページの積極的な更新や学校・PTAのメール配信、おたよりの工夫などにより、高い評価を得ることができたと考えます。今後もより一層、子ども達の様子が伝わり、安心していただけるように丁寧に情報を発信していきたいと思います。

本年度、新しく作った「学校からのおたよりを家の人に渡していますか」の質問に、児童の87.9%がA・B評価をしています。しかし、この数字から、学校からのおたよりが届いていない家庭があることもうかがえます。学校では、おたよりをきちんと持ち帰れるようにプリント類は、連絡袋やクリアファイルなどに入れて、他の物に紛れないように持ち帰る指導をしています。机の中の整理・整頓をし、おたよりが確実に保護者の手に届くように引き続き声をかけていきます。

< 学校運営協議会より >

- ・昨年度よりアンケート回収Postを設置し、保護者が提出方法を選べるようになった。それにより、率直な意見も出しやすくなったと思う。それでも、学校への評価は下がっておらず、教職員の評価とも近づいているのがよいと思う。
- ・の質問について、「宿題」「自主勉強」のどちらを聞いているのか曖昧ではないかという意見が出たが、「宿題」に絞って聞くと100%近く、「自主勉強」にすると低い数字になるのではないかと考えられる。そのため、家庭で学習する時間がとれているかという見方をしていけばよいのではないか。

子どもたちへの教育は、保護者と学校の信頼関係が大切であり、学校は子どもたちの状況や保護者の思いをしっかり受け止め、教育の充実に努めていきたいと考えています。今後とも家庭・地域と学校が連携を密にし、より具体的な取組を進めていくことが大切だと考えています。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願ひします。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!



平成29年度 学校評価アンケート集計結果

兒...兒童 保...保護者·地域 教...教職員

